2017

英国 CMI 認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー

資格講習（詳細説明）

SustainaVision

Support the Development & Promotion of Sustainable Thinking

目次

はじめに....2
タイトル....2
開催日時....2
定員....3
主催....3
講習について....3
講習の構成....4
対象者....4
受講のメリット....5
日本における本資格講習参加者の声....6
CSR プラクティショナー資格講習受講企業・団体一覧....7
英国 CMI 認定 サステナビリティ CSR プラクティショナー資格保持者....8
講師　下田屋毅....9
ゲストスピーカー　ニコス・アヴロナス氏....12
英国 CMI とは....13
CSE とは....13
お申込み・お問い合わせ....13
よくあるご質問（FAQ）....14

はじめに

世界は、気候変動、人口爆発、資源不足、水不足、エネルギー・燃料問題、貧富の格差拡大、食料問題など様々な課題を抱えており、その中での企業の取り組みの重要性が増加している状況があります。それらを踏まえて、CSR/サステナビリティの分野でもグローバルな大きな流れが起きています。
国際規格 ISO26000、統合報告フレームワーク、ビジネスと人権に関する指導原則、GRI G4/スタンダードなど原則や基準の発行、紛争鉱物、パーム油、綿花に関わる調達やそれらの労働環境、人権課題を含むサプライチェーンの問題、持続可能な開発目標（SDGs）、サーキュラーエコノミー、パリ協定など海外では企業を取り巻く状況が変化し、企業はその対応に迫られています。
今回ご紹介いたします CSR 資格講習は、ロンドン在住 CSR／サステナビリティ・コンサルタントが講師として、グローバルな CSR／サステナビリティの流れを踏まえ、CSR／サステナビリティのトレンドや戦略的に実施する方法などを体系的に学べるようにお手伝いいたします。また、本資格講習は、英国の主要団体である CMI の公認資格で、世界で通用する CSR 資格です。2008 年より、世界の主要都市（シカゴ、ワシントン DC、ニューヨーク、サンフランシスコ、アトランタ、トロント、ブリュッセル、ロンドン、アムステルダム、ドバイ、アブダビ、アテネ、クアラルンプール、東京、大阪）で開催され、現在、5 大陸 28 か国約 1000 人が資格保持者となっています。世界の CSR／サステナビリティのトレンドを踏まえ、CSR/サステナビリティの戦略的な実施を考えている企業の環境/CSR 担当者、CSR／サステナビリティの包括的な知識の必要性を感じている方など、是非この資格講習を御検討ください。

タイトル

■ 英国 CMI 認定 サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格講習

開催日時

■ 2017 年 10 月 19 日（木）・20 日（金）両日とも 9:00～17:00
（2017 年度は 2 回の開催を予定しており、2017 年 10 月・2018 年 3 月となります。）

開催場所

■ 東京都港区（詳細は別途講習参加者に連絡いたします）

定　員

■　１５名

主　催

■　サステイナビジョン社　（Sustainavision Ltd：http://www.sustainavisionltd.com/　）

英国カンパニーズハウス、イングランド＆ウエールズ登録 Company No. 7477687
在英日本商工会議所会員企業

講習について

■　期間：　2　日間
■　講習前と講習後に課題があります。
■　講習後の課題の合格をもって、英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー資格が付与されます。
■　講義はすべて日本語で実施されます。講師やゲストスピーカーが英語で講義をする場合には、通訳が付きます。

講習料

カテゴリー	（表示額 1 人当たり）
通常料金（個人）	175,500 円
アーリーバード割引（早割） （2017 年 9 月 18 日迄）10%	157,950 円
紹介割引（15%）	149,175 円
会社割引（1 社 3 人以上：15%）	149,175 円
NGO/NPO,大学関係者、中小企業割引：20%	140,400 円

講習の構成

- 内容は、レクチャーとグループワークがバランスよく織り交ぜられた集中プログラムです。
- 講師と受講者の双方向でのやり取りで進められ、より効果的に学習することができます。

＜トピック＞

① サステナビリティ（CSR）とビジネス事例
② サステナビリティに関する現在の世界・地域の法律
③ サステナビリティ（CSR）戦略（事業に統合する方法）
関連する基準とガイドライン（国連グローバル・コンパクト、GRI G4/スタンダード、CDP、SROI）
④ 責任あるマーケティングとどのようにグリーン・ウォッシング/ブルー・ウォッシングを回避するか
⑤ サプライチェーン・マネジメントとカーボン・マネジメントにおけるサステナビリティの重要性
⑥ GRI と IIRC をベースにしたサステナビリティ（CSR）報告と統合報告
⑦ 外部保証、報告におけるコミュニケーションの方法と信頼性の獲得
⑧ サステナビリティ（CSR）プラクティショナーの役割と今後の動向

対象者

- 企業代表者、CSR/サステナビリティ・環境担当部門長
- CSR/サステナビリティ・環境マネジメント担当部門
- 人材開発担当部門
- マーケティング担当部門
- PR・広報宣伝・IR 担当部門
- コミュニケーション担当部門
- 海外事務所・工場・支店において CSR/サステナビリティを今後活発に展開することを計画している CSR/サステナビリティ担当部門・担当者
- CSR/サステナビリティを本格的に導入しようとしている企業の CSR/サステナビリティ担当者
- CSR/サステナビリティの包括的な知識の必要性を感じている方

受講のメリット

- ✓ グローバルリーダーにおける CSR/サステナビリティの資格講習です。
- ✓ 英国の主要団体 Chartered Management Institute (CMI) から資格が付与されます。この資格は世界で認識される資格です。http://www.managers.org.uk/
- ✓ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)/サステナビリティの幅広い内容が網羅されており、世界を見据えてCSR/サステナビリティの観点から何が企業にとって重要かを学ぶことができます。
- ✓ 内容は、レクチャーとグループワークがバランスよく織り交ぜられた集中プログラムです。講師と受講者の双方向でのやり取りで進められ、より効果的に学習することができます。
- ✓ 講習では、グローバルなケーススタディを活用し、グループワークを通じて実際に国内外で CSR/サステナビリティの実践が問われる場面をディスカッションします。
- ✓ 主任講師は、欧州・ロンドンに拠点を置き、最新の CSR/サステナビリティ情報を入手していますので、本講習を通じて、世界の先進的な知識を得ることができます。
- ✓ ゲストスピーカーは、シカゴ、ブリュッセル、アテネに拠点を持つ CSR コンサルティング会社 Centre for Sustainability and Excellence (CSE)社の代表取締役であるニコス・アヴロナス氏が務め、海外 CSR の状況についてのプレゼンテーション、Q&A セッションを受講できます。
- ✓ 包括的なスキルを得ることができます。
- ✓ ステークホルダーへのアプローチを学ぶことによって、ステークホルダーからのレベルの高い信頼性を得ることができます。また、ビジネスの透明性の理解・実践することによって、トリプルボトムラインをベースとした企業責任を効果的に推進していくことができます。
- ✓ サステナビリティ(CSR)プラクティショナー資格を取得することにより、組織内外での CSR 計画・戦略・プログラムをより効果的に実施することができるようになります。
- ✓ 2 日間の講習を通じて様々な業界の CSR 関係者とのネットワーク構築をすることが出来ます。
- ✓ 資格取得後は、世界と日本それぞれのサステナビリティ CSR プラクティショナー資格保持者限定の情報交換サイトへの登録ができます。
- ✓ 日本のサステナビリティ CSR プラクティショナー資格保持者限定の情報交換用メーリングリストに登録できます。

日本おける資格講習参加者の声

（順不同、敬称略）

- 最新の CSR に関するテーマの背景にあるメガトレンドを理解できたこと。欧米の先進企業の具体的な業務への反映方法を下田屋さんのお話しや映像、資料などから知ることができたこと。色々と真似をして実践してみたいと思いました。（東京ガス株式会社広報部ＣＳＲ室主任　鉢村　彩）
- CSR の最新動向をグローバル規模で体系だてて学べる機会が初めてでしたので、断片的だった知識がつながったことと、何となく思い込んでいたことが誤解だったり過去の内容だったとクリアになりアップデートされました。（フィリップスエレクトロニクスジャパン　徳永恵美子）
- 体系的に CSR を学べたことで新しい気づきがありました。CSR 支援会社として企業や団体の皆様との協働や新たな取組みを進めていく上で、ブレイクスルーポイントとなる要素を数多く発見できました。とても濃密で楽しい 2 日間の研修でした。（株式会社 a2media IR コミュニケーション事業部ディレクター　砂川祐恵）
- CSR の専門家の方々やこれを目指している方々と 2 日間一緒に過ごすことができ非常に刺激になった。　（エルケム・ジャパン株式会社　前代表取締役社長　伊達　裕幸）
- 基本的なテーマが網羅されており、2 日間に凝縮して効率よく学べました。わかりやすい解説、具体的なケース、グループワークの組み合わせによって、知識の習得にとどまらず、考え方や視点を深めることができました。グループワークをはじめとする参加メンバーの方々とのコミュニケーションも楽しむことができ、今後のネットワーキングにも非常にプラスになると期待しています。（株式会社サステナビリティ会計事務所　シニアコンサルタント　堀江美保）
- CSR の概要、現在の動きなどを広く知ることが出来、大変勉強になりました。参加されている方も知識豊富な方が多く、質問や事例共有など有意義でした。ありがとうございました。（ヤフー株式会社社長室　井手　一代）
- 非常にあいまいにとらえていた CSR ということばについて世界的な動向、基準も含め具体的に示していただいたこと。企業で実際に CSR に携わっておられる他の受講生の視点や考え方に直接触れられたこと。ステークホルダーの分析の演習では、企業の立場での思考のシュミレーションが少しはできたように思う。など非常に得るものが多かったです。（公益社団法人京都モデルフォレスト協会事務局参事　田中　寛子）

その他の受講者の声はこちら

CSR プラクティショナー資格講習受講企業・団体一覧

（順不同、敬称略）

- 株式会社日立製作所　情報・通信システム社
- インフィニート・ラボ
- 住友商事株式会社
- キリンビール株式会社
- 株式会社 Green prop　福岡支店
- TCO2 株式会社
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 公益財団法人　日本財団
- 株式会社　富士通鹿児島インフォネット
- 株式会社シータス＆ゼネラルプレス
- 法政大学
- コニカミノルタホールディングス株式会社
- 株式会社日本製紙グループ本社
- カシオ計算機株式会社
- NPO 法人 ECO 体験工房
- 特定非営利活動法人ＣＡＮＰＡＮセンター
- ジョンソン・エンド・ジョンソン　株式会社
- オイシア株式会社
- パナソニック株式会社
- ベスター建物管理株式会社
- 生物多様性＆ビジネスコーディネーション協会
- 株式会社　日立システムズ
- アックスデザイン株式会社
- カルビー株式会社
- 有限責任監査法人トーマツ
- サントリーホールディングス株式会社
- 武田薬品工業株式会社
- NPO 法人発達障害児支援 LOF 教育センター
- 株式会社サステナビリティ・コミュニケーション・ハブ
- ソニー株式会社
- 株式会社ニューラル
- 千住金属工業株式会社
- シチズンホールディングス株式会社
- トッパンエディトリアルコミュニケーションズ株式会社
- 東京大学環境安全本部
- アオイネオン株式会社
- 株式会社資生堂
- マツダ株式会社
- 有限会社アイルジャパン
- ダウ・ケミカル日本株式会社
- 東京エレクトロン株式会社
- グラクソ・スミスクライン株式会社
- リンテック株式会社
- ヤフー株式会社
- ローム株式会社
- 公益社団法人京都モデルフォレスト協会
- 株式会社白寿生科学研究所
- アライド・ブレインズ株式会社
- 関西ビジネスインフォメーション株式会社
- ギブン・イメージング株式会社
- 静岡ガス株式会社
- 前原環境技術士事務所
- 三菱レイヨン株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- エルケム・ジャパン株式会社
- 綜合警備保障株式会社

- 一般社団法人 相続安心支援センター
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 楽学夢現合同会社
- 株式会社エアロアクア
- Kroll Inc.
- 三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社
- 株式会社サステナビリティ会計事務所
- 日本電信電話株式会社ネットワーク基盤技術研究所
- 株式会社エコロジーパス
- 東京ガス株式会社
- 国際航業株式会社
- 税理士法人 内山会計
- キャスレーコンサルティング株式会社
- 古河電気工業株式会社
- 株式会社エナジェティックグリーン
- 一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
- 株式会社 a2media
- オリンパス株式会社
- 新電元工業株式会社
- 東レ株式会社
- 株式会社セブン＆アイ・ホールディングス
- 富士ゼロックス株式会社
- フィリップスエレクトロニクスジャパン

英国 CMI 認定 サステナビリティ CSR プラクティショナー資格保持者

資格保持者一覧（日本）

資格保持者一覧（世界）

講師　下田屋　毅

下田屋毅（サステイナビジョン代表取締役、ロンドン在住 CSR コンサルタント）

1991 年 川崎重工業株式会社に入社。工場管理部にて人事・労務・給与・社会保険・福利厚生・教育・労働安全衛生等を担当。労働安全衛生主担当として、「安全衛生管理要綱」作成、「安全内部監査制度」を企画・導入。事業部の PR・広報宣伝強化プロジェクトのプロジェクトマネジャーとして、PR、広報宣伝、営業拡販、顧客・代理店との連携強化の為の諸施策を実行。中国プロジェクト参画。
2002 年出向にて、環境ビジネス(RPF 製造：株式会社エコ・マイニング)新規事業立上げメンバーに選出、営業戦略・マーケティングを企画立案。
2007 年 9 月より英国 East Anglia 大学に留学。2008 年 8 月同校 MSc in Environmental Assessment and Management 修了。環境影響評価、環境マネジメントシステム、リスク管理、廃棄物管理、ライフサイクルアセスメント、カーボンフットプリントについて学ぶ。
2008 年 10 月英国 Lancaster 大学に進学。2009 年 9 月同校 MBA 修了。2010 年 12 月日本での職務経験・知識、また英国の環境科学とビジネスの修士で得た知識をベースに、CSR・環境のコンサルティング会社「Sustainavision Ltd.」を英国ロンドンにて設立。
2011 年 7 月より国際交流基金ロンドン CSR セミナーシリーズ・プロジェクトアドバイザー。
2011 年 9 月 欧州 CSR コンサルティング会社 Centre for Sustainability & Excellence（CSE）社と戦略的パートナーシップを締結 2011 年 12 月より CSE 社のアドバイザリーボードメンバーに就任。
2013 年 7 月よりビジネス・ブレークスルー大学講師（担当科目：CSR/サステナビリティ）

＜セミナー・講演の開催実績＞

- 国際交流基金ロンドン CSR セミナーシリーズ講演（2011 年 7 月英国ロンドン）
- 「欧州新 CSR 戦略、日本企業はどう欧州 CSR に対応していくべきか」（2012 年 1 月東京）
- 「欧州・北米と日本の CSR(サステナビリティ）との違いを考える」（2012 年 2 月東京）

- 日本 LCA 学会環境情報研究会」「持続可能な社会実現に向けた金融業のあり方に関する研究会」（共同開催）にて「CSR についての欧州連合新戦略」を講演（2012 年 6 月東京）
- 「The Asahi Shimbun Sales Training Workshop 2012」にて基調講演 （2012 年 10 月英国ロンドン）
- HEC Paris Business School にて世界の CSR のトレンド等を講演（2012 年 11 月フランス・パリ）
- サステナビリティ日本フォーラム、ヒューライツ大阪主催「人権ワークショップ、CSR にどう人権を生かすか」にて、「欧州企業の人権への取り組み」を講演（2013 年 2 月東京）
- 経済人コー円卓会議日本委員会、シータス＆ゼネラルプレス主催、「グローバルな視点で日本の CSR の課題と可能性を考える～人権、欧州、中国の最新スタンダードとは～」にて、「欧州の CSR 事情と日本の CSR の違い」を講演（2013 年 3 月大阪）
- 第 15 回経営倫理実践研究センター主催 時局セミナー「欧州の CSR の動向について～GRI G4 の改訂点と直近の欧州 CSR・経営倫理事情～」を講演（2013 年 6 月東京）
- 経団連 企業市民協議会（CBCC）にて、「ビジネスと人権に関する指導原則～欧州企業の取り組み～」を講演（2013 年 6 月東京）
- JETRO London セミナーにて「企業の社会的責任（CSR）とビジネスリスク」を講演（2013 年 9 月ロンドン）
- 王立国際問題研究所（チャタムハウス）のラウンドテーブルにて「コーポレートガバナンスと CSR」に関するプレゼンテーションを実施（2014 年 3 月英国ロンドン）
- グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン主催「CSR セミナー 基礎から欧州最新トレンドまで」を講演（2014 年 4 月東京）
- CSR 京都主催「CSR の社内浸透のために～欧州事例に学ぶ～」を講演（2014 年 9 月京都）
- 京都 CSR 研究会主催「欧州 CSR 事情～新戦略の動向と企業と NGO の連携～」を講演（2014 年 9 月京都）
- グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 環境経営分科会主催の研究会にて「欧州における環境 CSR の動向」を講演。（2015 年 1 月東京）
- サステナビリティ会計事務所、サスティビー・コミュニケーションズ主催の「CSR 特講」にて、「欧州先進企業の CSR の意識と取り組みから考える」を講演（2015 年 10 月東京）
- JETRO London セミナーにて「英国現代奴隷法 2015 セミナー（Modern Slavery Act 2015 Seminar）」を講演（2015 年 11 月英国ロンドン）

- グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン主催「CSR セミナー～国連ビジネスと人権フォーラム報告会～」にて、「ビジネスと人権フォーラムの今までの概要」を講演（2016 年 1 月東京）
- JETRO アジア経済研究所、政策提言研究会「ビジネスと人権-新興国における CSR」にて「英国現代奴隷法の制定と日系企業へのインパクト」を講演（2016 年 1 月東京）
- 経団連 企業市民協議会（CBCC）にて、「英国現代奴隷法の概要－同法への対応をめぐる動向、適切な対応に向けて留意すべき事項等－」を講演（2016 年 3 月東京）
- 日本産業協会主催、消費生活アドバイザー更新研修〈集合講座〉において「本来の CSR（企業の社会的責任）とはなにか？」を講演。（2016 年 6 月名古屋、東京）

＜執筆・連載＞

- 「志のソーシャル・ビジネスマガジン オルタナ：欧州 CSR 最前線」
- 「オルタナ・オンライン:欧州 CSR 最前線」
- 「環境プランナーメールマガジン」
- 「ブレーンセンター・トピックス提言：CSR の推進に不可欠な社内浸透教育の重要性」
- 「時事通信社 金融財政ビジネス・経済人」
- 「東洋経済オンライン ここがヘンだよ日本の CSR」
- 「シータス＆ゼネラルプレス サステイナビジョン下田屋毅氏に質問」
- 「レスポンスアビリティ社 メルマガ、サスナビ 欧州ここだけの話」
- 「日経エコロジー CSR 世界の潮流」
- 「新・CSR 検定 3 級公式テキスト」
- 「新・ＣＳＲ検定 2 級公式テキスト」
- 「日本復活を本物にチャタムハウスから世界へ」 5.5.5 日本企業のガバナンスへの社会的責任投資の影響
- 「ZUU オンライン」

ゲストスピーカー　ニコス･アヴロナス氏

ニコス･アヴロナス氏（CSE 代表取締役兼創設者）

ゲストスピーカーは、シカゴ、ブリュッセル、アテネに拠点を持つ CSR コンサルティング会社 Centre for Sustainability and Excellence (CSE)社の代表取締役であるニコス･アヴロナス氏が、海外から CSR のトレンドについてプレゼンテーション、Q&A セッションを実施します。

ニコス氏は、2010 年に信頼できる企業行動を奨励する Trust　Across America により「信頼できる企業行動におけるトップ 100 人のリーダー」に選ばれました。彼は、国際的に「持続可能な発展」や CSR に関するトピックについてのスピーカーとしてもよく知られており、北米、ヨーロッパ、中東及びアジアの 20 カ国において講演を行ったり、専門家を育てることに尽力をしています。

ニコス氏は、サステナビリティ、CSR、企業管理、企業倫理と業務管理の専門家です。この 15 年間、彼は、フォーチュングローバル企業 1000 を含む世界を牽引する企業である BP、Dell computers、Mc Cain、DHL、Lafarge、Deutsche Post、HSBC、the Bank of Cyprus、DIFC、 the European Investment Bank、the Lloyds Banking Group に対して数々のプロジェクトを実施してきました。さらに、世界で活躍する 5000 人以上の経営者に対してのトレーニングやコーチングを行ってきました。

ニコス氏は、世界中の企業の議長や助言者の一員として貢献するとともに、様々なビジネストピックに関してワークショップや国際会議をコーディネートすることにも携わっています。
「Management Models for the future」（2009 年発刊）の著者の一人として、「責任ある競争」について分析をしています。彼のサステナビリティ、CSR、企業統治、気候変動についての記事や調査は、国内外の雑誌や新聞に取り上げられており、また CNBC、CCTV（China Central TV）、Voice of America など様々なメディアからもインタビューを受けています。

英国 CMI とは

Charted Management Institute（CMI）は、英国の主要団体として、毎年 3 万人以上の研修受講生を排出していて、資格認定プログラムにおいて、より高い基準を持つ世界的な組織です。CSR は、それ自体リーダーシップについてであり、適切なマネジメントについてのものであり、CMI はこの上で、より正しく、そして認知され、信頼できる組織です。

CSE とは

Centre for Sustainability and Excellence (CSE)社 は英国 IEMA の公認トレーニング団体として、このサステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格講習を、欧州・北米・中東・アジアにて開催しています。

CSE 社はサステナビリティ・CSR・持続可能な開発に焦点を当てたグローバル戦略コンサルティング、教育訓練を実施しており、シカゴ、アテネ、ブリュッセルに拠点があります。

CSE 社 は世界 28 カ国から 5000 人のエグゼクティブに対して CSR・気候変動関連のトレーニングを実施した実績があります。また、CSE は国際的な専門家やコンサルタントのネットワークを持ち、団体や政府、そして研究所に対して、ステークホルダーの価値を高めるためのユニークで進んだサービスを提供しています。

お問合せ・お申込み

よくあるご質問（FAQ）

Ｑ１：現在、直接の業務としてはＣＳＲの担当はしておりません。受講は可能でしょうか？

本 CSR 資格講習は、CSR 担当部門の方が多く受講されますが、CSR について知識を得たい、これからしっかり実施していきたいなど、CSR に携わってこなかった方にもご受講いただいております。
CSR 担当部門からご受講される方でも新しく CSR 部門に配属され、これから CSR を勉強されるという方もいらっしゃいますし、海外では、CSR 部門に配属された方にこの資格を最初に取得させることをしている企業もあります。
CSR の業務に携わっていない方は、CSR 業務に携わっている方より、理解に時間がかかるかもしれません。しかしながら講習は基本的な CSR の知識についても触れていきますので、順を追って理解することができると思います。またわからないことがあれば講習中、または、休み時間に質問をいつでも受け付けていますので、理解できなかったところについては聞いていただけると思います。

Q2：受講料はどのように支払うのですか？

受講料は、「銀行振り込み」 か「Paypal（ペイパル）を通したクレジットカードでのお支払い」をお願いしています。振り込みを選択される場合には、こちらから当社の日本の銀行への振り込み先をお知らせいたします。また、ご要望の場合は、請求書を発行いたします。

Q3：英国 CMI 認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格の更新要件について教えてください。

資格取得日から 12 か月以内に、社内外の CSR に関連の研修・セミナー・ワークショップへの参加（16 時間に相当する研修）が必須となります。
これら研修・セミナー・ワークショップは、社内外関わらず、また、どの団体の主催するものでも OK です。資格取得後、12 か月後に、当方からのメールにて確認させていただくこととなります。（所定の報告書にて提出が必要となります）
資格更新料は 100 ユーロの費用がかかります。
また、もしこの期間に CSR 関連のセミナー（16 時間相当）に参加できなかった場合には、更新の条件として、別途課題の提出が必要となります。この場合は、別途約 400 ユーロの費用が必要となります。

Q4： 英国 CMI 認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格講習は今後どの程度開催されますか？

1 年に 2 回の開催を予定しています。
2017 年度については、2017 年 10 月・2018 年 3 月を予定しています。

Q5：開催は東京が多いですが、他の地域での開催はありますか？

2017 年 10 月、2018 年 3 月の開催は東京にて開催しますが、それ以外の地域では、現在予定しておりません。

Q6：予定している開催場所以外での開催は可能でしょうか？

東京以外での開催をご要望の場合、10 名以上の人数の参加者が確保できる場合には、ご要望の地域にて開催いたします。詳細については、こちらからお問合せください。

Q7：会社内の CSR 担当者や各部門長を対象にして、英国 CMI 認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格講習を開催することは可能でしょうか？

各企業様や団体様に対して内部の方々向けに個別に英国 CMI 認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格講習を開催することは可能です。また、企業様の研修室での開催など出張も可能です。
都度お見積りさせて頂きますので、詳細については、こちらからお問合せください。

Q8：受講後の「資格証明書」は、何時何所から発行交付されますでしょうか？また、申請から交付までの流れを教えてください。

講習後の課題の合格を持って資格が付与されます。講習後の課題の提出締切日（講習受講から２週間後）から、課題の審査と申請に約 1 か月程いただいております。その後、合格されている場合には、PDF での資格証を E メールにて送付いたします。
そして、紙の資格証をご要望の有無を確認、ご要望をいただいた方のみに紙の資格証を発行いたします。紙の資格証の送付は、当社サステイナビジョンから、ご指定の住所（会社あるいは自宅）に送付いたします。

Q9：申込み後のキャンセルはできますか？

キャンセルについては、こちらをご確認ください。

その他のお問合せにつきましては、こちらからお願いいたします。

以　上